第13回 全国高校合気道演武大会

39校より約360名が参加

第十三回全国高等学校合気道演武大会は、八月二日に笠間市民体育館（茨城県笠間市）にて開催された。高等学校合気道連盟に所属する三十九校の高等学校、高等専門学校、中学・高等学校より約三百六十名が参集した。

開会式に先立ち、朗読家の見澤淑恵氏より「合気道と笠間市の結びつき」について朗読が行われた。開会式では平澤憲次大会会長が「本大会を合気道ゆかりの地で盛大に開催できることを大変嬉しく思います。演武では日頃の成果を十分に発揮し、更に植芝充央先生の演武を間近で拝見し、藤巻先生の講習会で稽古し、これからの高校生活を充実させる一日となることを期待いたします」と主催者挨拶。来賓祝辞として植芝守央道主が「大会の開催おめでとうございます。開祖が武農一如の生活を歩まれたこの笠間に高校生の皆様がお集まりになったことを大変喜ばしく思っております。限られた高校三年間、更にその先の人生を充実させるためにも大いに合気道に励んでください」と述べた。続いて山口伸樹笠間市長より「笠間市民を代表して皆様を歓迎いたします。笠間市での二回目の開催となる今大会では、前回よりも更に活気にあふれた演武をご期待申し上げます。また平成三十一年に茨城県で開催される第七十四回国民体育大会で、笠間市は「合気道」のデモンストレーションスポーツ開催地となります。これらを機に「合気道開祖の修練の地」として全国へ発信して参りたいと考えております。最後に笠間市開催にあたり、ご支援下さいました皆様にお礼も申し上げます」と挨拶があった。

演武は赤と白の会場で二校ずつ進行した。その後招待演武として中学校武道必須化において合気道を選択している岩間中学校と稲田中学校が授業で学んだ成果を演武で披露した。また茨城県合気道連盟所属の高校生による演武も行われた。

演武の締めくくりとして本部道場・植芝充央道場長代行により模範演武が披露された。

続いて行われた講習会では、藤巻宏本部道場指導部師範が指導。三十度を超す熱気に溢れた会場で、基本技や基本動作に重点を置き、しっかりと体捌きをすることを強調。

初参加の高校生は「不安と緊張でいっぱいでした。この経験を明日からの活動にいかしたいです」とコメント。

来年は東京武道館（東京・綾瀬）での開催を予定している。

真剣に演武を繰り広げる

植芝道主

山口笠間市長

植芝本部道場長代行の模範演武

藤巻師範による講習

平沢会長

指導を真剣に見つめる

合気道学校前期修了式

合気道学校平成二十六年度前期修了式は、上級課程が八月二十二日、中級課程二十三日、初級課程が二十五日それぞれ午後六時半から行われ、合気道学校長・植芝守央道主をはじめ各課程の担当師範が列席した。

植芝学校長は修了式にあたり「この半年間、皆様は各担当師範の教えをもとに合気道の稽古にしっかりと励んでこられたと思います。この半年間学んでこられたものを、今後の合気道の修業並びに社会生活に役立てていただければと思います。是非継続し、精進して頂きたいと思います」と激励の挨拶を述べた。

各課程の修了者は、上級課程十七名、中級課程十一名、初級課程十七名で、修了者には植芝学校長より修了証が手渡された。また、各課程で審査が行われており、合格者には免状が授与された。

植芝学校長を中心に

入身転換

この夏相次いだ台風の影響で前線が日本付近に停滞し、各地で豪雨となった。とりわけ広島市北部で甚大な土砂災害が起きた。被災された地域の道友の皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに一日も早く日常の生活に戻られることをお祈りするばかりである。

合気道ゆかりの地、笠間市で、恒例の全国高等学校合気道演武大会が盛大に開催された。演武会のみならず講習会での稽古は参加者にとって貴重な体験になったことと思う。甲子園の高校野球など高校生のイベントの多い時期ではあるが、今年は全国高等学校軟式野球大会に引き付けられた。中京高校が準決勝で四日間に亘り延長五十回を戦い、直後に行われた決勝戦でも勝って優勝したのには驚いた。高校生達の簡単にはあきらめない精神力の強さに感動した四日間であった。

高校と言えば、友人からユニークな全寮制インターナショナルスクール（高校）が軽井沢に先月開校した話を聞いた。アジア太平洋地域そしてグローバル社会のために、新たなフロンティアを創り出し変革を起こせるリーダー育むという目標を掲げた学校である。世界中から集まった多様なバックグラウンドを持つ一期生約五十人が入学した。授業は全て英語で、来年にも世界各国の大学入学資格（国際バカロレア）が取得出来る認定を受けるという。設立の構想に賛同したわが友人を含め多くの人々の寄付によって実現できたようだ。

一方で、少子化の影響であろうか各地に展開する有名予備校がその多くを閉鎖する方針を打ち出したと報道された。教育の世界にも大きなうねりが押し寄せているようだ。

（可児　晋）

合気道新聞
毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号（郵便番号162 0056）
公益財団法人　合気会
（合気道本部道場）
編集人　可児　晋
電　話03（3203）9236（代表）
ＦＡＸ03（3204）8145
購読料
１ヵ年　2,500円
郵便振替
00150－0－49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌

中段は
敵の心を
その中に
うつり調子を
同じ拳に

合気道実技指導者講習会

猛暑の中、二日間52名が参加して

平成二十六年度学校合気道実技指導者講習会が、文部科学省、公益財団法人合気会の共催で八月二十日（水）、二十一日（木）に行われた。本講習会は平成二十四年度より実施された中学校保健体育における武道の必修化を受け、保健体育科教員及びに運動部活動指導者（外部指導者を含む）の合気道指導者としての資質向上、学校における武道指導の充実を目指すものである。

参加者は合気道未経験の保健体育科教員を含め、両日合わせて五十二名であった。開講式では植芝守央道主より「大変暑い中、先生方にはお集まり頂きまして本当にありがとうございます。文部科学省のご理解によりまして第九回目を迎えました、この実技指導者講習会、毎年毎年、この暑い中ですが皆様にはお越し頂いて、実のあるものにして頂いていると、私は確信致しております。平成二十四年度から、中学校の武道が必修化になりまして、合気道も選択してよい中の一つではありますが、現在四十校足らずでございます。私ども合気会、合気道に携わる者として、ぜひ少しでも多くの中学校に合気道の良さをという風に念願致しております。そういう意味で、この実技指導者講習会、大変意義のあることだと思っております。また本日は、九名の合気道未経験の保健体育の先生方にいらしていただいております。ぜひその先生方にも合気道を理解して頂いて、少しでもその理解されたものを生かしていただければと思っております。また、文部科学省はじめ、講師の先生方、この二日間、ご指導の程宜しくお願い致します。この二日間、暑い中ではありますが、ぜひ実り多いものにしてください。宜しくお願い致します」と挨拶があった。

安全な受身を体験する

文部科学省スポーツ・青少年局体育参事官付教科調査官高橋修一氏による解説、「学校体育における武道指導の在り方について」では、子供の体力・運動能力に関する調査結果や運動部活動における体罰の根絶、事故防止に関してのガイドライン等が説明され、続く国際武道大学体育学部教授の立木幸敏氏は、「子どもの発育発達に応じた合気道指導」についての講義を行い、参加者が頷きながら講義に集中する様子が多く見られた。「中学校体育授業における合気道指導」では、一年次の学習内容を鈴木俊雄本部道場指導部指導員が、二年次の学習指導内容を日野皓正本部道場指導部指導員が、三年次の学習内容を金澤威本部道場指導部師範が、それぞれ指導を行った。

高橋調査官による解説

立木教授による講義

三十五度を超す猛暑の中、参加者が時折メモを取りながら真剣な眼差しで指導を受け、授業における工夫を提示されると楽しそうに実技を行うなど、積極的に授業における指導技術を取り込もうと努力をする姿勢が見られた。

全体討議では、日本体育大学スポーツ心理学研究室助教の園部豊氏が指導者研修会や講習会の有効性を説明、明治薬科大学薬学教育センター専任講師の熊澤美裕紀女史が昨年度の同講習会アンケート結果から得られた「合気道授業の現状」を発表した。その後参加者からは活発に質問が出され、少しでも合気道採用校が増えるよう、また採用校においてはより良い合気道指導がなさるように念願する講師陣からは、熱意のある回答がなされた。

講習会は植芝充央本部道場長代行の「今回の講習会では三年次のカリキュラムを提示できました点においては、少し安堵をしております。十一月の全国合気道指導者研修会では一、二、三年次の指導内容をまとめた新たな指導の手引をお渡しできればと思っております。また、合気道を一校でも多くの学校で採用して頂けるように、今回参加された皆様はじめ多くの方々にご協力頂ければと思っております。この度は本当にありがとうございました」という挨拶で締めくくられた。

栗林師範による指導

本部では暑中稽古

恒例の本部道場暑中稽古は七月二十八日から八月六日までの十日間にわたって行われた。

普段より多くの稽古生が参加した中、植芝守央道主を始め本部道場指導部師範の指導の下、連日活発な稽古が各クラスで展開された。

今年の暑中稽古には百名の会員が皆勤し、皆勤者には皆勤証と植芝道主直筆の手拭が送られた。

奈良　三松禪寺道場が特別講習会

三松禪寺道場（奈良県奈良市田中利明道場長）は、昨年五月に続き、奈良県合気道連盟（窪田育弘理事長）後援のもと、七月十二、十三日の両日、奈良市立中央第二武道場に栗林孝典本部道場指導部師範をお迎えして、特別講習会を開催いたしました。

はじめに、講習会に臨む心構えを、『居つかない』という言葉を使われて常に新しいことを学ぶ姿勢の重要性を判りやすく説明されました。

初日は、側面への体転換、受けを引き出す体転換、受けを引き込む体転換の講習から始まり、基本技を通じてこの三つの基本の動きを繰り返しご指導いただきました。

二日目は、初日の基礎を諸手取り、後ろ取りの技に応用して基本の動きを講習していただき、取りと受けとの関係、体全体の使い方、重心の位置が体得できるよう、順序立てて分かり易くご指導頂きました。

栗林師範の転換

会場を回りながら熱心に手ほどきをされる栗林師範から、少しでも多くを学ぼうと真剣に受講する参加者の姿が印象的でした。

梅雨空が明けきらぬ奈良の地には、奈良県内や京阪神近隣地区だけでなく愛知、東京などからも総勢三百名が参集し、栗林孝典本部道場指導部師範の手ほどきを受け、時の経つのも忘れて研鑽に励みました。

和やかな中にも緊張感のある二日間の特別講習会は、実り多いものとなりました。（合氣道三松禪寺　片倉勝己）

岐阜県連が講習会

岐阜県合気道連盟は第五回講習会を七月二六日、飛騨高山ビックアリーナ武道場で開催した。県内会員と、愛知、三重、富山、石川、奈良、静岡、東京から合わせて三十四団体百三十名が参集した。講師は昨年に続き、本部道場指導部の栗林孝典師範。

今回は「技の形は分かっている。どう動いたらこうなるか」を課題とされた。片手取り、両手取り、後ろ取り各種の模範技を披露いただき、ときに例話を交えての解説は大変興味深い内容だった。参加者は、取りでは体各部を意識した使い方を、受けでは前回りや後ろ回りの受け身を自ら作らないことに注意を傾けた。

標高六百数十メートルの山間部の高山市でも気温三五度まで上がったこの日、各自体調管理をしながら臨んだ二時間の稽古は充実した雰囲気のまま終了した。

その後の懇親会では、栗林師範を囲み、参加団体が自己紹介をし、更に交流を深めた。（岐阜県合気道連盟事務局　田中英生）

少年部が夏季合宿

本部道場少年部の夏期合宿は、八月十七日から十九日まで、新潟県越後中里で行われ、幼稚園、保育園から中学一年生まで四十人が参加した。

初日、合宿所到着、昼食後、午後一時半から三時まで一時間半の稽古が行われた。後ろ受身百回を皮切りに年少、年長の合同での基本技、その後、別々に年少は基本技、年長は応用技、自由技をみっちり稽古した。稽古後はドッチボール等で汗を流し、夕食後には花火、ミーティング、両親に葉書を書いたりなどの後、就寝した。

二日目は、朝六時起床、付近の散策後に朝食、午前九時から十時、年長、年少に分かれ、それぞれ応用技、基本技をしっかりと稽古した。場所を移し地元のプールで午前十一時から二時半まで遊び。お土産を買い、夕食後は大雨を避けながら初日に続けて花火を行った。

三日目、朝六時起床、その後体育館の畳を全員で片付け、朝食後、地元の川で存分に遊んだ。三日間皆がしっかりと稽古し、体を目一杯使って遊び、非常に充実したものになった。

元気に稽古した

合気道探求48号　7月20日発売

●道主対談　中村麻美（画家）
●ふるさと案内　鹿児島
●第五十二回全日本合気道演武大会
●技法講座　座技正面打ち、入り身投げ、小手返し
●合気道人生　藤井克利
●師範の横顔　大江勝、本澤俊三
●日本武道の中の合気道　加来耕三
●「教える」を考える　貝塚茂樹

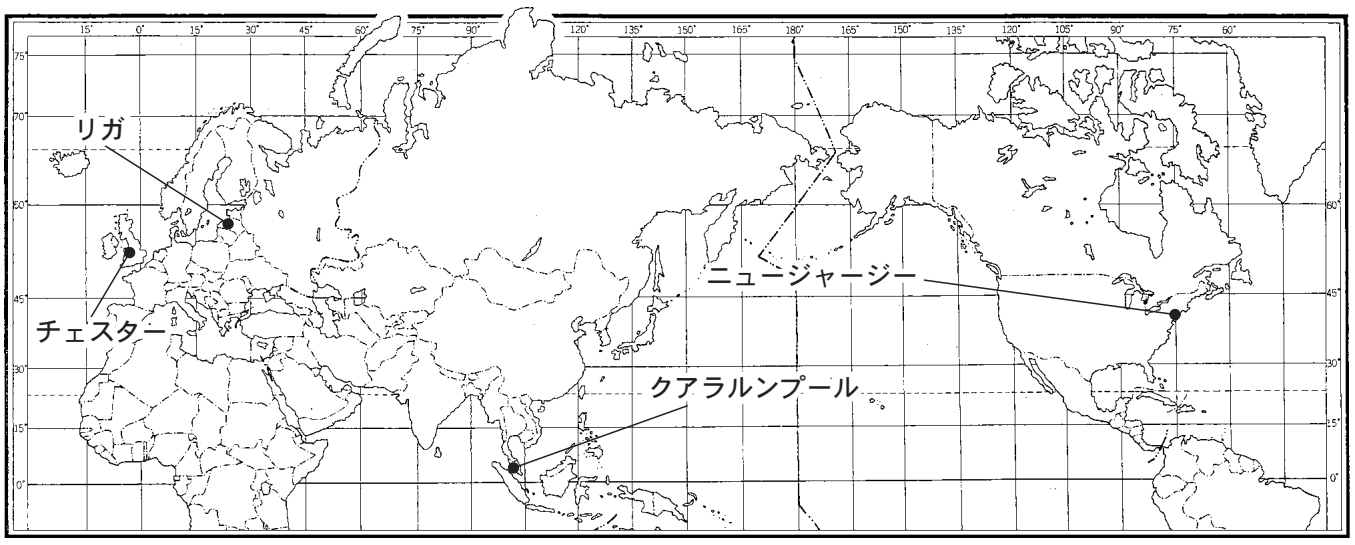
第52回　全日本合気道演武大会DVD

▼内容：植芝守央道主の総合演武をはじめ、師範・指導者演武
▼時間：一八〇分
▼価格：四、五〇〇円（税、送料込み）
▼予約受付開始：八月十日㈮より
▼発売開始：九月一日㈪より
▼申込み方法：名前、住所、電話番号、所属団体を明記の上ご注文下さい。
▼申込み先：国際企画センター
〒一四三-〇〇二四
東京都大田区中央五-一八-一
FAX：〇三-三七五五-一二五八
E-mail：o.aikido@kind.ocn.ne.jp

マレーシア協会が20周年

植芝本部道場長代行招き開催

マレーシア合気道協会（以下：MAA）二十周年記念行事は、平成二十六年七月二十五日から七月二十七日に、マレーシアのクアラルンプールにて、植芝充央合気道本部道場長代行を招き、開催された。二十五日午後は、在マレーシア日本国大使公邸に訪問し、会食を行った。宮川眞喜雄在マレーシア日本国大使館特命全権大使、横山卓司広報文化部長、野﨑知和広報文化部二等書記官、植芝本部道場長代行、ロー・ティヤンセンMAA会長、トニー・ヤップ副会長、レオン・ウェン事務局長らが列席し、合気道の歴史、マレーシアでの合気道の軌跡について語られ、和やかな会食となった。



植芝本部道場長代行の指導

宮川特命全権大使と植芝本部道場長代行

植芝道場長代行による稽古は二十五日から二十七日の三日間、毎日午前中に一時間十五分、OCMオリンピック協議会ビル屋内アリーナにて行われた。また、植芝道場長代行の他に、MAAで指導を行ってきた故菅野誠一師範やMAAと関わりのある師範が招待され、稽古を行った。

二十五日午後は窪田育弘師範、ルイ・タイゲム師範（ベルギー）が各々一時間十五分の稽古、二十六日午後は山田博信北総合気会師範、トニー・スマイバート師範（オーストリア）、ジョージ・ロー師範（オーストラリア）が各々一時間十五分の稽古、二十七日午前は坪井威樹月窓寺道場師範代が一時間十五分、稽古を行った。参加者は約百五十名、参加道場は十九道場だった。国外からはシンガポール、ベトナム、インドネシア、香港、中国、ベルギー、オーストラリア、アラブ首長国連邦、ブルネイからも駆け付けた。植芝道場長代行は、基本的な技を中心に二日間の稽古を展開した。

二十七日の夜、クアラルンプール市内のレストランに会場を移し、MAA二十周年記念祝賀会が開かれた。初めにローMAA会長から挨拶があり、大使館を代表し横山広報文化部長、植芝道場長代行が祝辞を述べた。

二十七日は、午後から演武大会が行われた。演武大会は道場演武、マレーシアの指導者演武、国外から招待された師範の演武、各国の団体から約三十名が演武を行った。そして大会の最後に、植芝本部道場長代行による総合演武が行われ、大会は無事に閉会した。参加者は皆充実した稽古、また演武大会に満足していた。

小林師範による抑え技

来年にはUKAの記念式典に本部道場より若先生をお迎えする機会があり、同会を始め、他団体も全面的に協力を表明しており、素晴らしい講習会になる事を期待したい。（本部道場指導部師範　小林幸光）

英のチェスター市でBAFサマースクール

私（小林）は八月八日から八月十七日まで、BAFサマースクール（金塚稔師範）指導のため、英国チェスター市に派遣された。

講習会は、同市内のチェスターカレッジ内に設けられた二か所の道場で行われた。講習は金塚師範、マット・ホーランド七段、私が中心に指導した。稽古は連日四回（各一時間）行われた。

また、一四、一五日の両日に昇級昇段審査が行われ、多数の会員が合格した。

今回参加した国は、UK をはじめフランス、オランダ、ベラルーシ、ロシア、ポーランド、ドイツ、日本等で、約二百名の会員が参加した。

初心者、有段者、混合等にクラス分けされていて、稽古はとてもスムーズに指導することが出来た。初心者の会員達も大変素直で、稽古も一生懸命で、このまま良い環境で上手く育って欲しいと講習を終え思った。

会場となったチェスターカレッジ内は、宿舎等が新しく改築されていて、二年前とは大分環境が違っていたが、とても新鮮な気持ちで講習を終える事ができた。

ラトビア連盟が講習会開く

私（入江）は、七月二十三日から二十九日まで、ラトビア合気道連盟（ウラディミール・ユスジャノフ、アレクサンダー・オスナッチ両代表）主催の講習会に派遣され、指導稽古を行った。

本部巡回指導等で何度も訪問していたので、両代表はじめなじみの会員との再会を喜んだ。

講習会は、二十四日から二十八日まで、リガ市内のオリンピックスポーツセンターで行われ、約七十名の参加があった。リトアニア、イスラエルからの参加者もあった。

基本技を中心にその反復稽古を行った。参加者の素直な稽古態度が気持ちよい。

最終日に昇段審査を行い、初段二名、弐段六名、四段二名全員が合格した。

近年、ラトビアでは若い世代が学校卒業後、国外に働きに出てしまい、国内に定着しないらしい。合気道もその影響を大きく受けて会員数の伸び悩みがあるが、本部道場から指導者を招いてのこのような講習会の開催をこれからも続けていきたいと両代表は語った。（本部道場指導部師範　入江嘉信）

米連盟　恒例の一週間夏合宿

ニュージャージー州で

二〇一四年度の米国連盟夏季合宿は七月二十六日から一週間、昨年と同じくニュージャージー州のリゾートホテルを借り切り、大澤勇人本部道場指導部師範を再びお招きし、前半は三百人、後半は四百人の参加者のもと行われました。

スケジュールは例年通り、山田、大澤師範と米連の両師範、女性指導者による一日八時間の厳しいものでした。

山田師範が五十年前に渡米して間もなく夏合宿は始まりました。この行事は日本の大学の合宿形式を取り入れたのです。外国の人はそれ迄、一週間に渡り寝食を共にする経験はなく、最初は多少の混乱がいろんな意味でありました。それでも数を重ねるうち、合宿の目的、合宿体験からのみ修得できる事の大切さがわかってきました。それは、いかに人との和が大切かと云う事です。

今年も外国からの参加者が多く、実に二十か国から道友が来てくれました。外国からの皆さんは、過去五十年に渡り、山田師範が米国と諸外国との間に渡して下さった〝ブリッジ（橋）〟を渡って来た訳で、その事は山田師範に対して最大のプレゼントになりました。

打ち上げパーティでは、植芝守央道主からのニューヨーク合気会設立五十周年のお祝いのメッセージが朗読され、また山田師範から「皆さんは、私にとって宝物である」との挨拶があり、参加者一同感激致しました。（ニューヨーク合気会　大場のり子）

山田師範による講習

◇本部だより

▽植芝充央本部道場長代行（随行は日野皓正指導員）は、九月十日から十七日まで、ルーマニアの講習会で指導される。また、九月二十六日から十月一日までスイス（随行は徳田雅也指導員）の講習会指導を担当される。

▽栗林孝典指導部師範は、九月十日から十六日まで、ブルガリアの講習会に派遣された。

▽金澤威指導部師範は、九月十一日から十六日まで、ポーランドの講習会に派遣される。

▽森智洋指導部師範は、九月十七日から二十二日まで、東南アジア巡回指導の一環としてモンゴルに派遣される。

▽小林幸光指導部師範は、九月二十四日から三十日まで、ギリシアの講習会に派遣される。

▽大澤勇人指導部師範は、九月二十六日から三十日まで、カナダの講習会に派遣される。

▽入江嘉信指導部師範は、十月七日から十三日まで、インドネシアの講習会に派遣される。

▽栗林孝典指導部師範は、十月九日から十四日までアゼルバイジャンの講習会に派遣される。

▽桂田英路指導部師範は、十月九日から十四日まで、アメリカの講習会に派遣される。

岡田主氏（合気道野比道場長）八月十三日逝去。享年九十三。

各道場の昇段者

７月15日～
８月14日
（公財）合気会登録

【四段】
◆合気道研心会＝佐々木善生◆合気道潜龍会＝松坂章彦◆合気道東湖塾＝小檜山剛◆鎌倉若宮合気会＝郡真由美◆キャンプ座間＝K.Mcneeley◆武友館袋井合気道場＝竹内康夫◆長野至水会安曇野支部＝堀江伸治◆桜台合気道クラブ＝奥本権常◆三島記念館＝美和彰◆宮城浄心会＝早坂亮二◆大県神社合気道同好会＝中山英治◆文京区合気会＝岩﨑洋明◆防衛省合気道連合会＝住谷正仁◆堀越道場＝倉持隆◆LATVIA＝I.Burlajeva、R.Kivlenieks◆NETHERLANDS＝F.Veer、T.Huiskamp、J.Post、J.Woudenberg、M.Verleg、R.Rodenburgh、R.Berkum◆FRANCE＝A.Mardin、B.Guiader、M.Mebarek、M.Grafe、M.O'Donovan◆U.S.A.＝J.Martin◆COLOMBIA＝L.Norena◆RUSSIA＝A.Agafonov、Y.Eroshkin、K.Ivanov◆SWEDEN＝T.Nilsson
【参段】
◆合気道東湖塾＝星野裕二◆諏訪道場＝手塚泰徳、鯨岡健人◆鎌倉若宮合気会＝伊藤宏明、V.Nikopol◆A＆P合氣道田口道場＝濃野美子、濱守由美子、石井康滋、服部すみ江、村上理◆NHK合気道部＝小田川恵美子◆武友館袋井合気道場＝吉筋正和◆合気道浦安道場＝長濵真久◆宮崎県谷神会＝新地麻奈美◆厳武館＝今田理◆甲府合気会＝佐野利幸◆合気練成会＝林良三◆山口合気会＝寄田真也◆順風会＝田島あゆみ、吉留裕之◆小林道場＝和田祐次、杉本善正、P.Fobe、M.Aloia◆祥平塾＝A.Lehavi、A.Joseph、Y.Anaby◆城南合気会＝田中時代、植田拓真、横田伸一◆菅原総合武道研究所＝J.Sanchez◆宮城浄心会＝佐藤彰◆三菱合気道部＝滝浪ほだか◆大阪合気会＝細見康彦、稲田省悟◆調布合気道会＝樋口昌夫◆京都近江合気会＝髙野樹◆武産合気龍山会＝石崎栄◆文京区合気会＝板垣和彦◆防衛省合気道連合会＝渡邉清隆、大久保仁◆城北道友会＝中尾美恵◆北総合気会＝土橋宣夫、林龍彦、相川仁、山田聡一◆円悠会＝吉野泰隆、水谷英郎◆広島国際合気道道場＝北湯口聡美◆合気道鹿沼教室＝家吉正明◆五十嵐道場＝入江真弘、村上俊幸◆遠賀合気会＝山田尚実◆合気道潮塾＝磯部政利◆合気道広沢塾＝T.Bernardino◆名古屋至誠館＝柏森律子、佐藤武◆GUATEMALA＝S.Prouveze、R.Gonzalez、P.Buenafe◆AUSTRALIA＝C.Hutchinson、S.Seymour◆ARGENTINA＝M.Gomez、D.Bermudez、C.Fabbro、M.Jacob、C.Cavallo、M.Fleytas◆RUSSIA＝D.Gerasimov、E.Zalfugarov◆FRANCE＝F.Pichereau、B.Guiader、M.Mebarek、Z.Djarallah、T.Antier、M.Mahmoun、A.Kehila、V.Zinchenko、H.Kreisel、P.Canestrier、S.Maldonado、P.Nakache、C.Masse◆MEXICO＝T.Broszio、L.Chavez◆FINLAND＝T.Martikainen、P.Rantala◆NETHERLANDS＝L.Kuijk、T.Ramakers、R.Msegued、T.Johannsen、W.Post、D.Pleune、M.Groeneveld、C.Thorne、N.Jacobs、I.Lem、D.Stolp◆U.S.A.＝A.Vai、M.Zierold、R.Kravetz、B.Bates、T.Hargreaves、L.Caspani、T.Yee、D.Appelbaum、J.Brunson、C.Dunn◆GREECE＝A.Glentis◆MALAYSIA＝淩振量、邱利華、S.Muthusamy◆SINGAPORE＝Z.Tan
【弐段】
◆合気道研心会＝町田昇勇、小駒幸雄◆A＆P合氣道田口道場＝阿部博、杉本準一◆キャンプ座間＝N.Johns◆宮崎県谷神会＝大岐浩晃、雀ヶ野夏樹◆厳武館＝飯田春彦◆公和館道場＝中嶋佳奈◆合氣道鉄石会＝樋口夕伽子◆合気道滋賀＝西尾至史◆自在館＝川谷尚平◆合氣道修練道場自然館＝大田綾音◆順風会＝虎谷知彦、鈴木進吾◆小林道場＝田中哲次、S.White、J.Golijan、S.Jed、T.Rozman、M.Lathom、A.Pirc、Z.Savnik、A.Voronkov、N.Juggoo◆祥平塾＝梶村昌世、稲垣圭祐、F.Diermen、K.Malak、K.Nieuwenhuizen、S.Noach、A.Atlas◆菅原総合武道研究所＝A.Fernandez、V.Garcia、F.Canchales、J.Costa、M.Sandez、S.Dolov◆清進塾＝萩坂昌也、北村嘉章◆宮城浄心会＝小林洋美◆相模原合気道同好会＝平野努、細川和子◆大阪合気会＝福原彰、中本美知子◆大阪武育会＝根岸和則◆調布合気道会＝原島博◆京都近江合気会＝山下聡◆武産合気龍山会＝間誠◆円悠会＝川尻千明、曽根国善、永山裕二◆鳴鶴会＝F.Sanchez、H.Bilia◆野比道場＝小松遼◆里見八顕会＝後千恵子◆隆氣館＝山本瑠奈◆堀越道場＝神谷幸志◆合気道清水塾＝中野宏◆合気道鹿沼教室＝金子幸弘、土屋雅男◆名古屋至誠館＝松田剛、橋本尚教◆東筑紫学園中高等学校＝月足紗綾◆京都女子大学＝潰滝佑香◆埼玉大学＝岡田拓巳◆THAILAND＝P.Teeracheep◆LATVIA＝S.Andrianovs、I.Brodins、A.Belousovs、T.Salimbajevs、A.Salimbajevs、T.Turulina◆AUSTRALIA＝D.Davenport、V.Revitt、T.Richards、R.Nicholas◆ARGENTINA＝D.Roldan、M.Escalada、A.Rossini、E.Ybarra、D.Painceira、M.Sapienza、J.Dominguez、A.Gimenez、O.Postiglione、A.Solana、M.Panaia、G.Garcia◆NETHERLANDS＝R.Maas、C.Gruss、I.Cantalapiedra、T.Roks、T.Zandbergen、J.Leeuwaarde、E.Loon、F.Schols、M.Koutek、I.Roling、A.Janssen、G.Karijomenawi、D.Madja、C.Pham、R.Maessen、P.Aarts、M.Koopmans、L.Spreeuwers、D.Haar、E.Noort、A.Winkels、J.Tieman、S.Bos、R.Rijkhoff、D.Soroko、J.Veerman◆FRANCE＝A.Marquez、M.Abaurrea、M.Marchisio、S.Ljubic、V.Augier、A.Ojeda、F.Pichereau、B.Guiader、M.Mebarek、L.Chao、A.Mebarek、J.Guez、A.Kehila、U.Leipert、S.Hagemann、T.Hegewald、O.Arabsky、P.Gery、C.Minet、R.Barbin、H.Sliman、J.Bonnemains、T.Castillo、A.Colas、S.Boucher◆RUSSIA＝R.Kamaletdinov、V.Merkulov、P.Dzhunkovskiy◆U.S.A.＝井上隆憲、P.Hsu、R.Honicky、H.Yu、S.Thilo、J.Molina、M.Molina、C.Jones、M.Bryant、M.Cote、P.Olszewski、F.Alhou、R.Paton、L.Mendoza◆SPAIN＝J.Miguel、J.Serrano、A.Martinez、E.Ventura、J.Villa、F.Munoz、M.Villagra◆MEXICO＝A.Peris、A.Cazares◆FINLAND＝T.Hietala◆GREECE＝S.Tselegidis、A.Moshokarfis、I.Papathanasiou、F.Papagiannis、D.Bochenko、G.Theofilopoulos、I.Sotiropoulos◆中華民国台湾＝賴春旭、王信堂、陳裕政、史福淵、高健銓、簡市紘、黄森坪◆IRAN＝M.Vahedi、R.Mokhtari、K.Mahmoudi◆MALAYSIA＝劉志忠、吳天豪、徐竣城、頼佩怡、葉俊文、鈡天賜、吳開安、方宗譽、W.Leong◆SINGAPORE＝B.Siu、M.Cheong、B.Siu、M.Cheong
【初段】
◆合気道研心会＝佐々木俊介◆A＆P合氣道田口道場＝田口良則◆相馬合気道教室＝阿部広行◆春陽会＝I.Iepishko、J.Midcap◆合気道東湖塾＝高橋喜孝◆可児カルチャーセンター合気道教室＝武市恵里、森本潔◆合気道岐阜一元会＝土肥智木◆諏訪道場＝山口淳史、吉居浩二、織田宏則◆三重合気道研究会＝W.Janelle◆中今塾＝陣ノ武久◆六合斗生会＝池部奨、大井浩一◆キャンプ座間＝渡邉研吾◆武友館袋井合気道場＝平出和明◆一宮合気会＝高木逸郎、加藤寛隆◆宮崎県谷神会＝由浅充崇、石﨑里沙、大岐卓矢◆群馬合気会＝平野将昭◆合氣道鉄石会＝菱田宏文◆八ツ屋合気道クラブ＝川端淳也◆高松合気会＝渡辺至◆高伝館＝松村貴洋◆合気練成会＝川瀬冴和、稲垣智子、藤田美穂◆合心館谷本会＝伊藤美弥子、真鍋麻里、D.Reiman◆合気道三浦＝瀬戸竹法◆三島記念館＝楠井翔也◆山口合気会＝河野都、三浦隼典◆自在館＝伊藤峻毅、増田竜大、若田雄大、丸山高史、小林忠篤、山岸起里生◆合氣道修練道場自然館＝寺島佑、延寿寺恭子◆鹿児島合気修練道場＝青木善幸◆合気道そよかぜ＝スニガ・チャベス・エディス◆春水道場＝渡部尚志◆順風会＝今井英敏◆小林道場＝上出益朗、冨田玄武、藤縄裕平、西孝、黄梓漢、A.Smirnov、C.Lozano、U.Rama、D.Mihelic、R.Macek、A.Linen、E.Lapierre、P.Kuzma、R.Katsuyama、J.Heiliger、C.Webb、C.Lim◆尚武館＝松田直樹◆祥平塾＝上林和彦、服部幸代、鍛治谷宏行、山本政明、A.Hulst、J.Veenhuis、J.Smit、D.Vroegindeweij、M.Moll、Z.Holdengraber、R.Weiss、A.Daniels、G.Tsabar、S.Nidam、S.Yassur◆菅原総合武道研究所＝J.Garcia、J.Lopez、J.Pedreno、J.Crespo、A.Romero、Y.Makarov、G.Mikhailovskii、M.Khanina◆清進塾＝根津宣孝◆大阪合気会＝児倉いずみ、黒川由孝、中原康行、西村佳子、渡邉紘一郎◆大阪武育会＝佐野正樹、脇信行、柴原淳◆武育会岡山県支部＝蛭田佳寿美、桐野優子、藤田幸代、筒井哲也◆大手前学院＝西川さつき◆竹豊館＝朝加飛鳥、軒端真歩、山本和波、大林慎太郎◆調布合気道会＝信夫秋◆京都近江合気会＝北口雄大、時枝奈々子、田中聖斗◆文京区合気会＝岡﨑泰彦、岡﨑恭美◆城北道友会＝北村卓也、吉岡祥一◆北総合気会＝塩見麻苗、古谷優子◆鳴鶴会＝P.Reboucas◆里見八顕会＝永田諒也、大塚泰司◆立川市合気道会＝牧野夏実◆鈴木道場＝狩野由美子◆合気道串本道場＝和田美稀、東道沙羅◆堀越道場＝清水羽香、日留田佳弘、小野田裕人、小池豊◆大治町合気道スポーツクラブ＝伊藤菜月、瀬戸瑞樹、近藤佑亮◆広島国際合気道道場＝藤田友子、M.Gurvan◆合気道鹿沼教室＝沼尾歩◆五十嵐道場＝P.Janowiak◆丹波道友会福知山道場＝由利智久◆昭心会＝ウステュネル・ギュネシ◆悠歩塾＝青柳勇◆宮崎合気道会＝末原佳奈◆名古屋至誠館＝柏森文太◆矢本武道館道場＝佐藤政孝◆田園調布雙葉学園＝大嶋かんな、松平芽依、木村有希、小平瑚都、渡邉美南、堀口真実、中島美緒◆狭山ヶ丘高等学校＝小林明◆城西大学附属城西中高等学校＝家永麗以、服部磨紀◆杉並学院＝岡田英津子、三浦菜々子、吉野薫、戸倉志歩、西村優希、林壮介◆東京都立武蔵高等学校＝髙木瑚子◆山口大学＝天野佑亮、原田裕美◆群馬大学＝鶴田真人、茂木茉莉奈、竹渕未稀◆国際武道大学＝前川原基◆滋賀医科大学＝森光芽生◆東洋大学＝塩原智美◆日本歯科大学＝小番爽、酒井美結、戸倉絢菜、吉田和真、中村元一◆THAILAND＝J.Phuphontarn、W.Surajakwattana◆LATVIA＝A.Raudins、A.Sirotkins◆AUSTRALIA＝M.Scata、C.Bligh、J.Bray、P.James、L.Hope、G.Nant、Y.Yap◆DENMARK＝B.Nordsejl◆ARGENTINA＝E.Petrocco、M.Martinez、R.Gomez、G.Ravarotto、S.Cueto、E.Delgadillo、R.Dondero、C.Gonzalez、P.Ramis、F.Lucuix、A.Chibana、O.Pugliese、M.Valles、F.Fontana、G.Martinez、M.Sambartolomeo、J.Rueda、C.Pereyra、L.Escobar、F.Ferrero、G.Avalos◆NETHERLANDS＝高澤亜由子、R.Mijnsbergen、F.Mijnsbergen、M.Hagman、D.Heistek、S.Kuypers、J.Verhoeven、P.Berg、R.Beukel、S.Broerse、F.Hooghiemstra、G.Hovinga、H.Schmidt、M.Nooijens、E.Stevens、M.Bakker、D.Meijland、J.Jong、M.Werkhoven、R.Smit、C.Fletcher、M.Scholtes、M.Bovndeerd、M.Lietz、G.Lietz◆FRANCE＝F.Pichereau、B.Guiader、M.Mebarek、L.Chao、A.Mebarek、B.Borri、A.Fernandez、R.Citajevs、A.Kiselevs、A.Kehila、U.Gunter、M.Reichel、S.Zhuravel、R.Chernous、K.Jmili、F.Saihi、J.Odeh、S.Hamed、S.Bayou、M.Tebib、D.Tkaczyk、M.Romaniuk、D.Pedziwiart、T.Tulacz、L.Winniki、M.Guyen、L.Dubourg、A.Foltier、D.Verna、A.Ploquin、F.Cordier、F.Hibon、O.Kunzler、B.Persin◆MEXICO＝J.Rivero、J.Soto、E.Ceballos、M.Yabur、P.Tehuintle、L.Gonzalez、A.Trujillo◆FINLAND＝T.Lassila、J.Kuoppa、J.Tuovinen、O.Vikman◆U.S.A.＝J.Elliott、R.Chuang、T.Eddings、I.Perez、G.Garcia、D.Jacobson、D.Garcia、C.Nolin、R.Keil、R.Paton、K.Legendre、S.Malyshev、M.Jerndal、D.Doskey、R.Mosch、B.Wood、R.Fischer、K.Mcclure◆RUSSIA＝A.Karpunin、N.Akatev、A.Sinitsyn、A.Bryukhanov、A.Morozov、M.Fokin、R.Shtrunov、E.Sokolov、A.Nikitin、I.Koscov、A.Bobkov◆POLAND＝A.Belz、M.Kuchar、Z.Czebocko、J.Cwiklinski、A.Pluska◆SPAIN＝M.Lopez、D.Tomas、J.Castan、F.Villalba、J.Perez、S.Zulcic、E.Arnautovic、S.Karic、J.Delgado、I.Saa、A.Torres、A.Alvarez、A.Martin◆IRAN＝R.Safari、A.Mehralian、P.Vafaian、M.Zohrevand◆中華民国台湾＝許智超、鄭儒觀、林昊慶、衛愛欣、陳天財、張桂森、林曼麗、陳雅芳、陳瑞瑚◆GREECE＝D.Koyroyblis、G.Giannoydakis、S.Forrer、M.Mathioylakis、E.Charchari、V.Kalevras、L.Karabataki、S.Magiafas、A.Megiaj、A.Michalopoulos、F.Kolokotas◆GERMANY＝C.Kocka、V.Florian、M.Thoma、K.Huber、M.Frosch、L.Spengler、H.Huber、N.Eschenbruch、M.Malecha、B.Spengler、S.Fischer、M.Mayer、C.Stamp、G.Stamp、G.Molt、C.Contini、J.Haemmerle、R.Schwalbe、A.Vanhumbeeck、T.Schoeler、S.Andris、S.Schauer、H.Schlegelmilch、B.Schwab、R.Froehlich、J.Hlawon、S.Kleeblatt、C.Gottfried、M.Lochmueller、T.Moser、M.Lupberger、T.Burkart、M.Schuh、D.Sabo、G.Weber、V.Schwarber◆MALAYSIA＝唐文豪、洗振揚、莫淑琫、欧凱賢、于国坚、張振鴻、S.Yew◆SINGAPORE＝郑利辉、J.Nawar、M.Hadem、G.Loh、J.Kurniaditama、J.Teo、S.Zhou